



自衛隊埼玉地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCES SAITAMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

雇用協力企業主等部隊研修



自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 山野正志一等空佐）は二月四日（火）から五日（水）の間、日頃から自衛官の再就職援助に協力いただいている十四社十六名の企業主等を招聘し、部隊研修を実施した。

初日の四日は陸上自衛隊駒門駐屯地の機甲教導連隊を研修、部隊の概況について説明を受けた後、隊員食堂での昼食をはさんで、戦車や機動戦闘車をはじめ各種装備品を見学し、機甲科部隊の精強性を身近に感じることができた。

二日目は、海上自衛隊横須賀基地に移動し、午前中は第六護衛隊の護衛艦「てるづき」に乗艦、艦内の様々な装備や飛行甲板を見学し、海上防衛の任務に就く護衛艦の重要性を改めて認識した。

午後は、隊員食堂で節分にちなんだ「恵方巻」の昼食に舌鼓を打った後、横須賀港務隊の支援船に乗船して港内を一周、停泊中の艦船を海上から見るといふ貴重な経験を得た。

参加者からは、今回の部隊研修を通じて、困難かつ過酷な任務に献身的に専念している自衛官の生の姿に触れることで、退職自衛官の雇用の有益性を再認識でき、大変有意義だったとの感想をいただいた。

埼玉地本では今後とも退職自衛官の雇用協力企業と連携し、援護基盤を充実させ、退職予定者に対する親身な就職援護に努めていく所存である。

就職援護説明会等を開催



自衛隊埼玉地方協力本部（本部長※山野正志一等空佐）は埼玉地域援護センター（大宮駐屯地内）で、令和二年六月二十二日（月）と二十三日（火）の両日、今年度最初の定年退職予定隊員就職援護説明会を、続く二十四日（水）には任期制退職予定隊員就職補導教育をそれぞれ開催した。

定年退職予定隊員就職援護説明会は令和三年四月から六月までの間の定年退職予定者を対象にしたもので、埼玉県内に就職を希望する八名の隊員が参加し、現在の雇用情勢をはじめとした、若年定年者の再就職を取り巻く環境についての理解促進を図った他、就職援護の要領について説明した。その後、援護センター員と自衛隊援護協会東京支部主幹が各退職予定隊員と個別に面談し、それぞれの希望を確認しながら、再就職に向けての取り組み方や適職に関する情報を提供した。

また、任期制退職予定隊員就職補導教育は、今年度の任期満了退職予定者を対象にしたもので、今回は十六名の隊員が参加した。

任期制隊員の就職援護業務を委託した再就職支援会社が主体となり、就職援護の流れや今後のスケジュールを中心に、自己理解と就職活動方法を習得させた。

定年退職予定者、任期制退職予定者のいずれも、参加した隊員からは、再就職活動に向けての心構えと意識改革ができ、大変参考になったとの声が多数寄せられた。

埼玉地本では、今後も退職予定隊員に親身に向き合い、退職後の生活の安定に寄与する質の高い援護を目指していく所存である。

（※ 令和二年六月二十九日から山下真司一等空佐）